

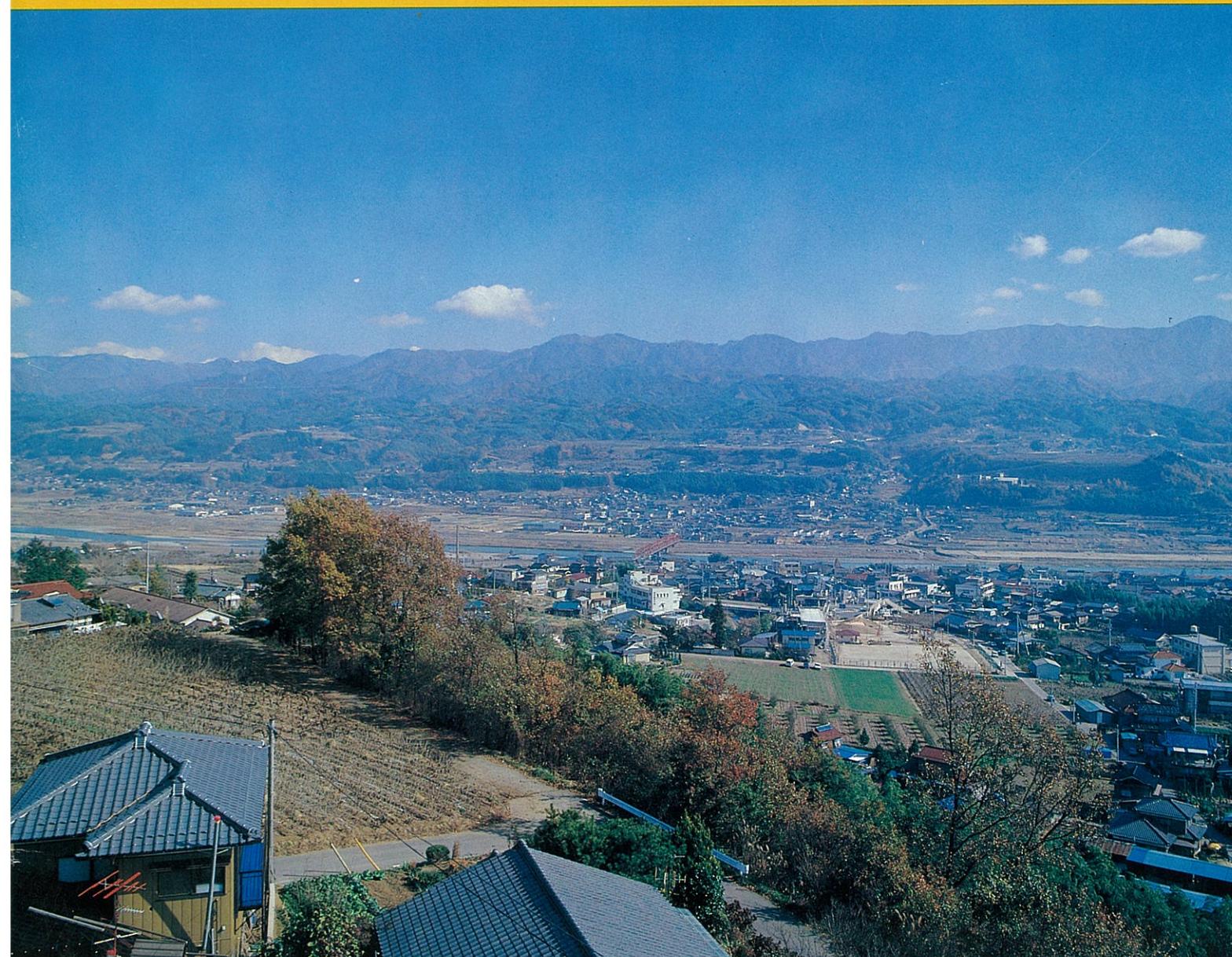
豊丘村

1982●村勢要覧

もくじ

- ① 緑豊かなわが郷に美しい希望と愛を
- ② ③ ビジョン'82
- ④ ⑤ 農業近代化に託す明日
- ⑥ ⑦ 地域均衡化をめざして
- ⑧ ⑨ 育て豊丘の大地に
- ⑩ ⑪ 希望ある社会を青年に
- ⑫ ⑬ 豊かさを実現する
- ⑭ ⑮ 対話から生まれる村政
- ⑯ 文化財

TOYOOKA



緑豊かなわが郷に美しい希望と愛を



発刊にあたって

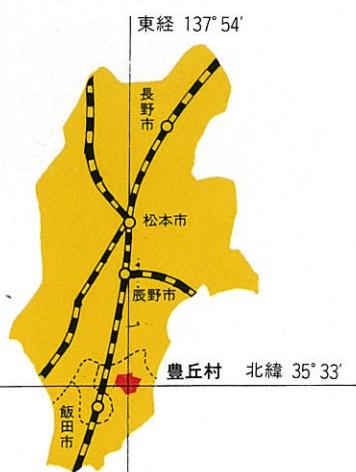
豊丘村が発足してすでに27年の歳月が経過しました。この20有余年を顧りみると共に将来への展望にたって、豊丘村の現状を見つめ、さらに今後の発展構想を村民各位とともに考査することのできる資料として活用される要覧を、との願いのもとに発刊の企画をいたしました。

三六災を期として経済変ばうの端を発し48年に訪れたエネルギー資源をめぐる変動、これらの結末が貿易摩察となって日本経済をゆるがしている。ここに豊丘村の現況を多面的に集約して、今後発展への基礎的資料として御活用いただきたい、広く各位の御教示を賜りますことを、お願い申し上げる次第であります。

豊丘村村長 唐沢卓雄

位置・地勢

役場所在地		豊丘村大字神稻355番地
標高	440m	
東北面	137°54'	
南北面	35°33'	
周囲	76.29km ²	
東南	37.9 km	
西北	10.5 km	
	7.5 km	



	面積	百分比
総面積	76.29km ²	100.0%
耕地	8.68	11.4
森林	57.97	75.7
原野	0.36	0.5
その他	9.28	12.4



沿革

本村は上代の伴野庄の中心地域で平安時代は上西門院の御領地であり、鎌倉時代の初めは地頭小笠原長清によって管理せられたが、和久氏が久堅に拠るに及んで同氏によって統治せられて吉野、室町の両時代を経過した。

戦国の世となって武田、織田、豊臣等の諸氏の支配下にあったが、江戸時代徳川氏の政治が安定するに及んで河野、堀越、田村は阿島の知久氏の知行所となり林は幕府の直轄地すなわち天領となって上伊飯島代官所の支配に属した。また伴野、壬生沢、福島は美濃高須藩平氏の所領となって山本村の竹佐代官の支配する所であった。

明治のはじめ蛇川以北の地域は伊那県に、以南の地域は名古屋藩に属したが明治4年全地域筑摩県下に編入せられた。

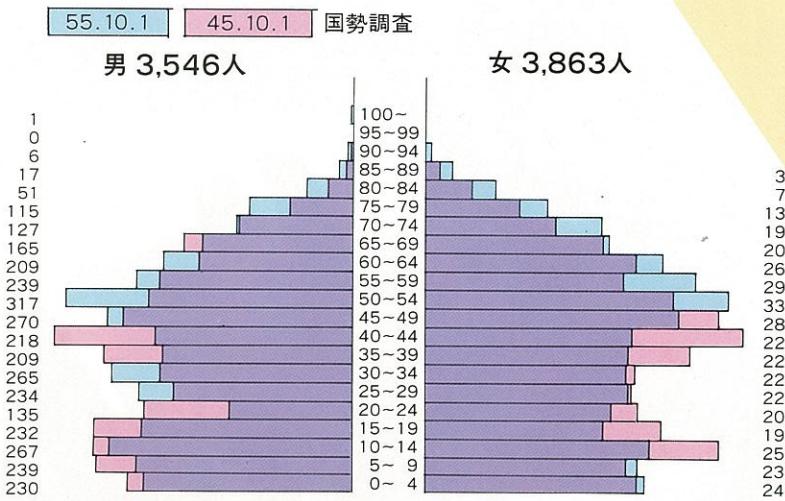
明治8年、河野は生田村に合併し、同14年に生田村、河野村(連合村)と称していたが、明治22年町村制施行に伴い、分離して河野村となつた。

一方、田村、林、壬生沢、伴野、福島の地域は、明治8年に合併して神稻村をつくり、明治9年には両村とも長野県の所管に入った。

その後、明治、大正から、昭和へと続き、昭和30年4月、河野、神稻両村が合併して豊丘村の誕生をみるに至つた。

減少に歯止めの人口。 高齢化社会への 道を歩みはじめています。

●豊丘村の人口ピラミッド



学校教育の充実を



教育施設の展望

①南小学校改築

昭和54年7月着工、同56年3月完成した。北校舎3階建、南校舎2階建何れも鉄筋コンクリート建で総延面積4,572m²。教育機器室と放送室に関しては特に意を用い施設した。

②南小学校50mプール完成

昭和56年7月完成。低学年用サブプールをも設置し、今後児童体育の向上に大きな役割を果すこととなった。

③学校給食共同調理場の完成

昭和56年3月完成。鉄筋コンクリート平屋建延面積301m²。3校別々の学校給食を統一し960食の規模の近代的な且つ衛生的な設備完備した明るい調理場として活動している。

④北小学校改築

昭和57年3月完成。鉄筋3階建一棟延面積2,155m²。57年度中完成の昇降口棟2階にランチルームを施設し立割式の食事方式を実施し小規模校としての特色を發揮するべく設置した。

壮丁踊り

河野大宮神社の春の祭典には、長い歴史を持つ伝統行事の壮丁踊りが、成人を迎えた若者によって行われます。



わたしたちの明日 の指針です—— ビジョン'82

農業の振興を考える

村の産業は農業、林業、工業、商業であるが、歴史の長い農業が純農村として、その中心をなしてきた。

米作りと養蚕が明治以来農家経営の柱としてとり入れられ、むらの農耕文化をつくり出してきた。史料館にその姿を一部見ることができる。

現在の農業経営の形態は米と果樹、果樹と畜産の農家が多く又、第一種兼業、第二種兼業の比率はきわめて高い。

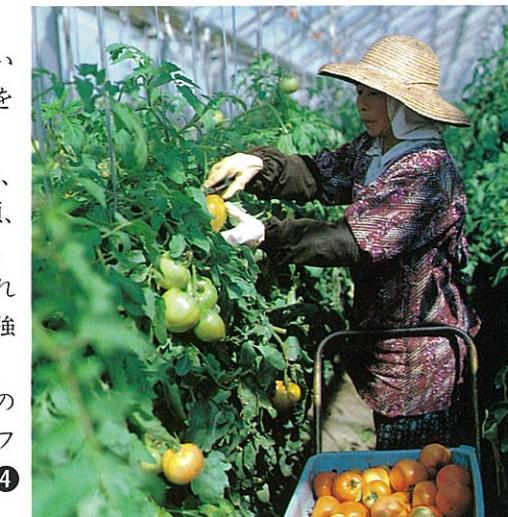
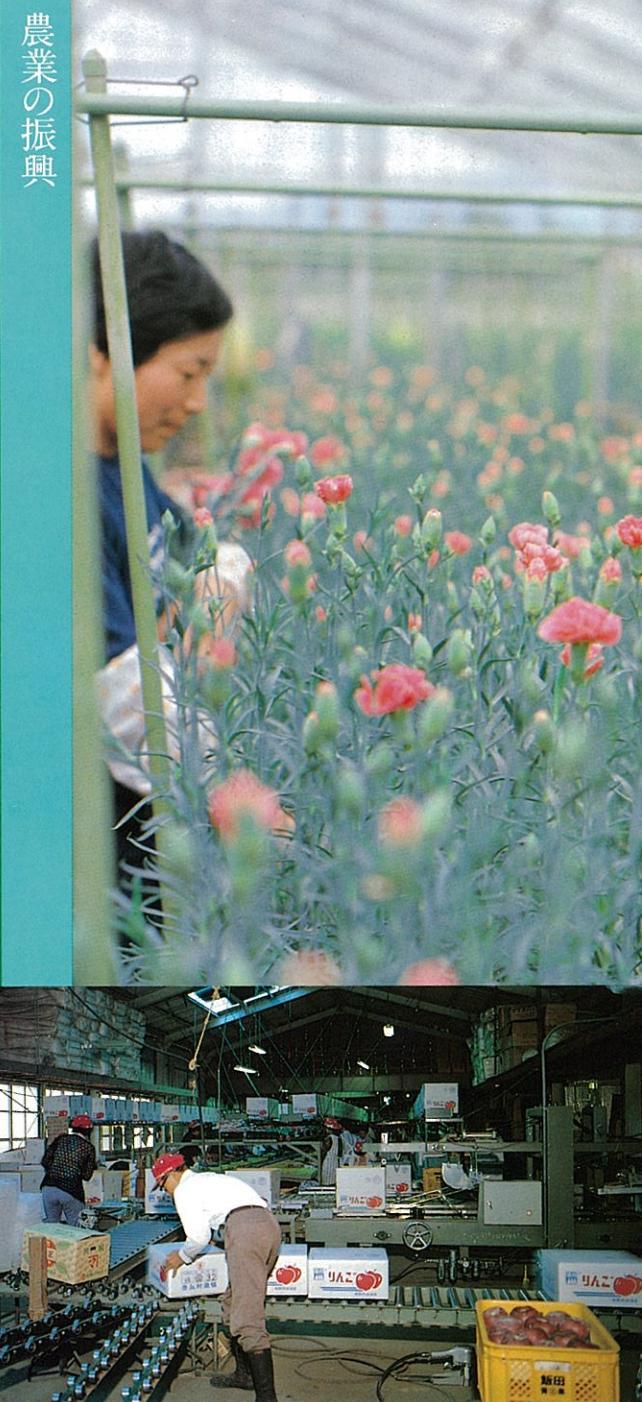
所得水準の高い豊丘農業を目指して、果樹振興、野菜花卉振興、畜産養蚕振興に村費を投じている。

みどりと清流の村として田園の中に工場があり、春は梅・ワラビ、夏は桃・りんどう・釣り、秋はりんご・梨・きのこ、冬は干柿・獣がある。広い山野に抱かれた南アルプスのふもとに新しい時代の「農村文化」づくりの基盤に農業を位置づけている。

日本一のリンゴ村です

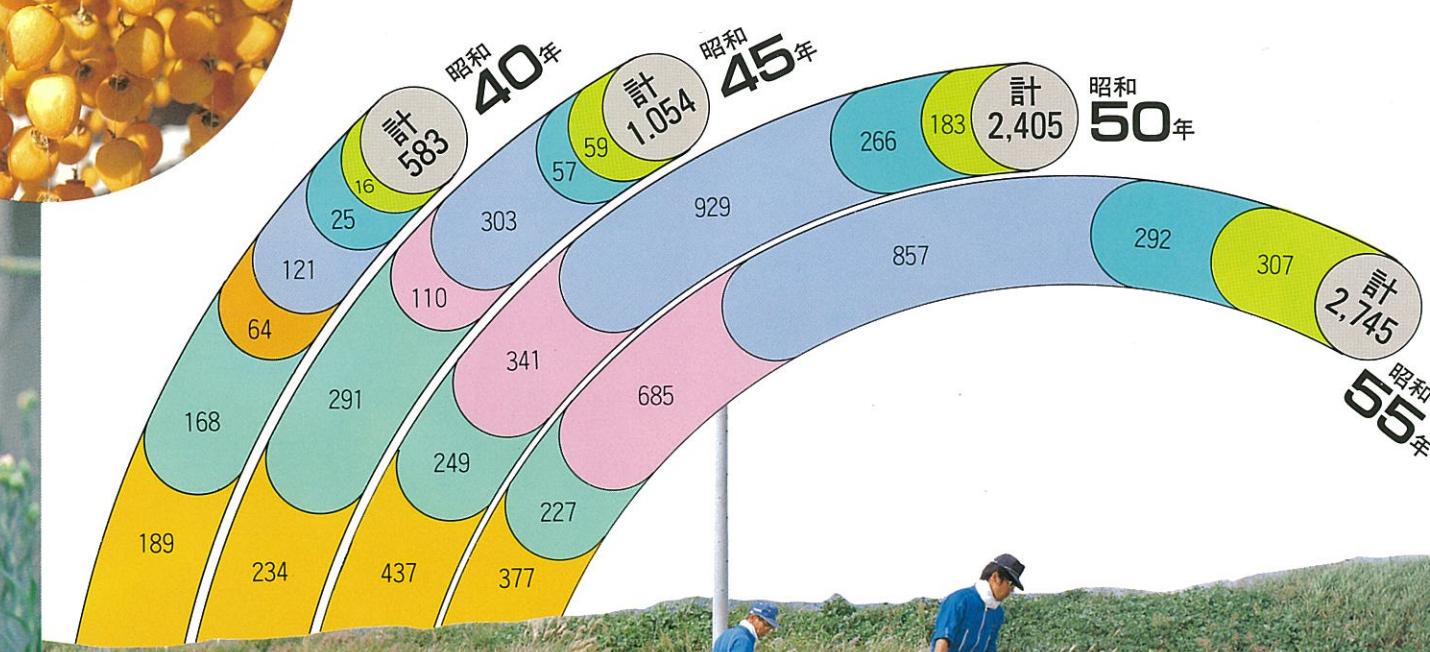
太陽が西に傾くとき陽をうける地帯はりんごの味が良いと云われている。りんごの品質で日本一の評価をうけている。56年秋に光測式大選果場が建設された。





着々と進行する第2次農業構造改善事業

農業生産額  (単位: 100万円)



農業の明日

年間生産額33億円の現状を反芻収益の高い
りんご、柿、梅の生産増により30%の伸びを見込む。

近いうちにりんご100ha、梨50ha、桃40ha、
梅40ha、柿40haに達する果樹園。酪農400頭、
肉豚1万頭、肉牛700頭の畜産。米作200ha、
野菜作り40ha、花弁10haの普通作に大別され
るが、農業経営の特徴は複合経営のねばり強
さにある。

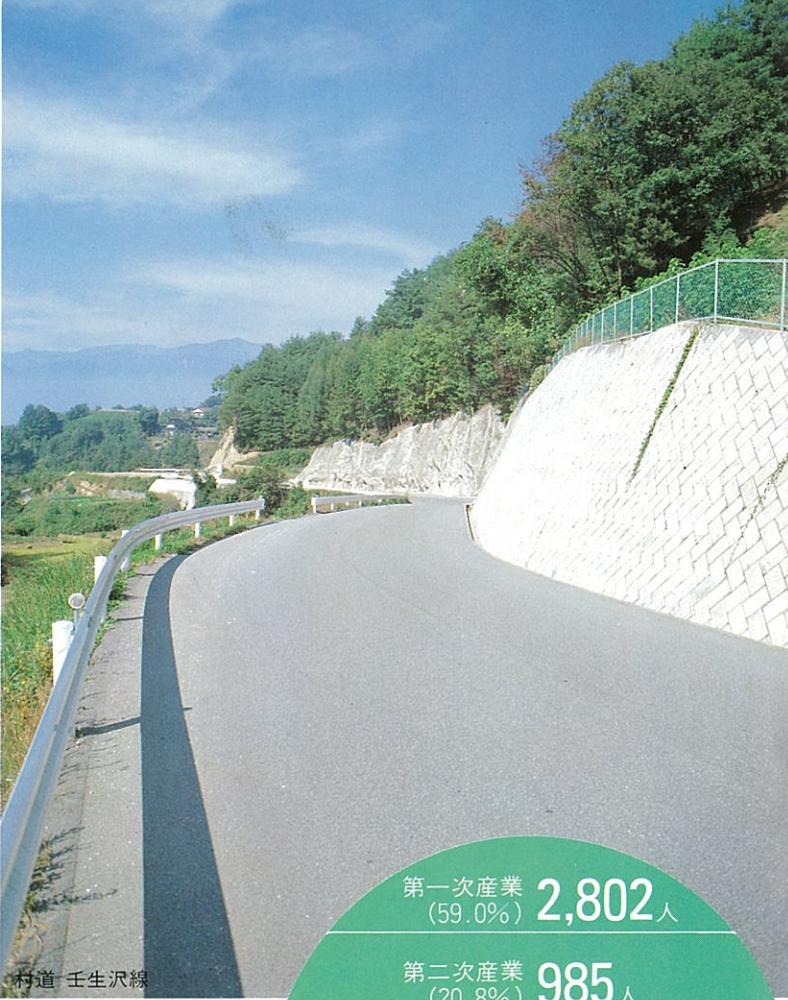
天竜川沿岸地帯、中段地帯、山間地帯別の
管農指導は農業技術者連絡協議会のスタッフ
が担当している。

地域均衡化をめざして

産業の振興



林業の明日
村の面積の80%を示める山林、現在は木材市況が低迷しているので山の手入れがゆき届かない状況にある。この中で松ダケ適地は村内各所にあり年産1億円以上と言われており、区有林、民有林の除伐、間伐が行われている。山林は河川上流のダムの役目を果しており、災害防止の上からその管理は重要である。



6

商工業の明日

年間生産額は約100億円程度であるが、伴野工場団地(5ヘクタール)、その他への工場進出数社の稼動が加わると150億円の年産額となる。製造業50社、建築土木130社、卸小売店80社、サービス業60社の中には地場産業と在来企業と小規模経営が多い。職種別グループ化、協業化が課題となっている。

産業分類別就業者数



7



伴野工場団地

総論

現代社会は今日に生きる子供に未来社会の中堅となってリードしていく子供に育ってほしいと願っている。学校教育は人間性豊かな自分で考え自分で判断し実践できる主体的な子供の育成を目指している。

●教育の基本方針

- ①教科・道徳・特別活動の調和と統一を図り、知徳・体育の調和のとれた人間性豊かな子供の育成を目指す。
- ②教師対児童、児童対児童及び教師間の人間関係を大切にする。
- ③地域や学校の実態に即してゆとりある学校生活を目指す。

教育内容の特色と実際

①北小学校

小人数、小規模の特性を生かし、学年の枠を外した、立割のグループ（仲良しグループ）を編成し、各種行事、清掃活動、児童会活動等、学校目標「根性と温い心」の具現をめざした実践活動を中心とした学校生活をねらっている。

②南小学校の丘の子祭り

なかよく、楽しく、きまりよい「ぼくたちの児童会」のテーマのもとでの中核活動のひとつが毎年初冬に行われる丘の子祭りである。各組で創意工夫し製作したおみこしの披露、花の種、手紙をつけた風船とばしなど夢と希望がふくらむ自主活動で風船とばしでは他の地域との交流が生まれた。

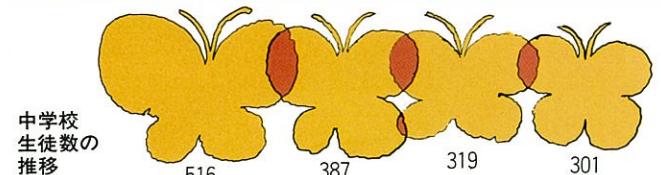
③中学校岩石庭園

昭和44・45・46年度卒業記念岩石園として計画され、昭和44年4月着工、昭和47年3月完成。

伊那谷南部を5,000分の1に縮尺した地形を型どり、産出する主な岩石を地質的に分類して配置されている。岩石は、70ヶ所の代表的河川より採集し、大きく10の分類をして色分けされたプレートによって岩石名・採集地が記されている。また、主な地名・河川名も明示されている。

広さ=465m²。岩石=標本1,400個、切断標本156個

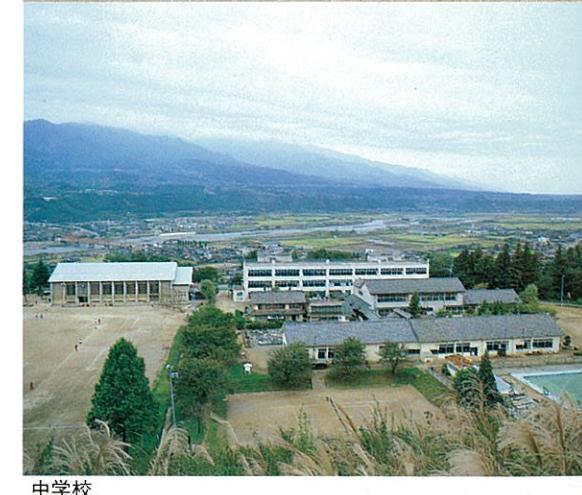
日本を外帶と内帶とに分ける日本で一番大きい中央構造線がほぼ南北に走り、地質的なちがいがはっきりとみられる。また、代表的な標本は、切断・研磨されていて観察しやすくなっている。



8



南小学校



中学校



北小学校



中学校のクラブ活動

学校目標（ゆたかさ、たしかさ、たくましさ、つつしみ）のもと、朝・放課後・休日の猛練習に若い情熱をぶつけている。

- 卓球(男女)
- 庭球(男女)
- バスケットボール(男女)
- 野球(男子)
- バレーボール(女子)
- 吹奏楽

社会教育

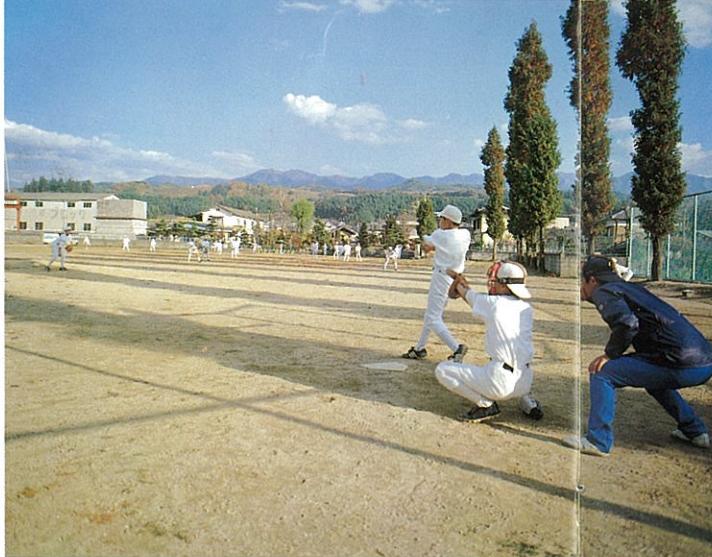
明るく住み良い村づくりのために、社会教育の場としての公民館は、本館と7つの分館、体育協会等が連帯を密に、多様化した住民要求に答えるべき条件整備を進めながら、住民総参加の学習、文化、体育活動を展開しています。

余暇時間を有効に過ごすと、200を越える数のグループやクラブが、活発な活動をしています。

婦人や青年達が、身近な地域課題や生活課題等、それぞれに持つ問題点を話し合う集会は、婦人会や青年団を中心に、多くの住民が参加し、今まで数多くの成果を上げています。

毎月1回発行される公民館報とよおかは、村の動きや、住民の声、公民館活動の紹介等、豊富な話題を掲載し、住民と行政のパイプ役として、また届ける社会教育として住民皆さんに親しまれています。

公民館図書室には1万3千冊の蔵書があり、子供から老人まで、多くの人が、本館から、また移動図書を通じて利用しています。



豊丘村サークル活動

豊丘村盆栽会・菊友の会・わら竹細工
丘村ひょうたん会・堀越素人盆栽クラブ
料理手芸・中芝菊づくりの会・伴野短歌会
道の会・小園民踊会

高齢者グループ

文化グループ

スポーツグループ

少年野球・少年剣道・少年柔道・弓道・一般野球・テニス・卓球・バドミントン・女子ソフトボール・地区ママさんソフトボール・一般ソフトボール・壮年ソフトボール・50才ソフトボール・60才ソフトボール・ソフトボール審判・走ろう会



豊かさを実現する。



ゲートボール

健康で明るい老後を過ごしていただくために、老人健康診査の実施、家庭奉仕員の派遣、77才以上の高齢者への敬老祝金、敬老会、年間医者にからなかった人の表彰、老人クラブの活動費助成、ねたきり老人介護講習会等を実施しているほか、ゲートボールの指導、老人憩の家の運営等、老人福祉には特に力を注いでいます。

56年度から新たに南保育所を開設、中央、北と併せて3保育所で、児童のすこやかな成長を願って保育を実施しているほか、3才未満の乳幼児医療費全額補助、こども会安全会掛金全額補助、慈恵園児の招待慰問を実施しているほか、年次計画で各地区に児童遊園を設置(現在7園)して児童福祉の充実を図っています。



福祉大会

現代、最も健康を阻害している要因として、栄養偏重、精神的ストレス、運動不足この3つを指摘しているが、癌、心臓疾患、脳卒中と死因別に多い病気の予防として村で行っている各種検診を積極的に受診され、先づ自分の健康は自分で守る認識を高め、日常生活に各人が栄養、運動、休養の三本の柱を大切にして、小さな努力のつみかさねで健康保持に努めましょう。



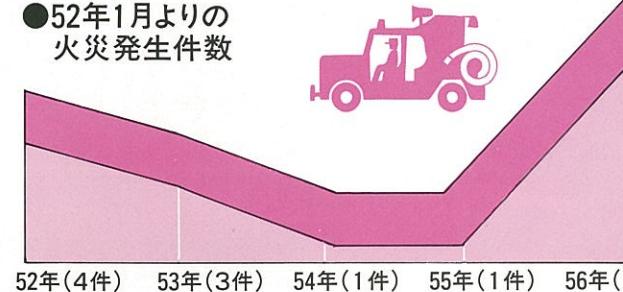
私たちの福祉目標
コツコツと実現をめざす

ひとつ、ひとつ



12

●52年1月よりの火災発生件数



村では火災、水害及び地震などの災害を未然に防止したり、被害を最少限に抑えて、村民の生命と財産を守るために飯田地区広域消防組合に加入しており、又、独自に消防団の育成強化をはかけております。

火災については消防署及び消防団が協力し合い予防消防の徹底を図り、いざというときは各家庭などから消防本部に直接つながる緊急電話を利用することにより、ファイードバック方式による全村放送が自動的に行われます。

この情報をうけて、いち早く消防署と消防団は出動、火災は最少限にとどめております。

消防団員は250名、3台の自動車ポンプと8台の軽便ポンプ付積載車それに6台の軽便ポンプが配備されております。

水害については、水防協議会において水防体制を確立し、災害にあたっては消防団員はそのまま水防団員になり、地域毎の水防関係委員と協力し合って活動します。

事前の防災措置としては、崩れ易い山腹には堰堤を入れたり、老朽化した河川の堤防は遂次改修や補強をしております。

又、集落内の排水路は農村総合整備モデル事業により整備し、住民の安全を図っております。

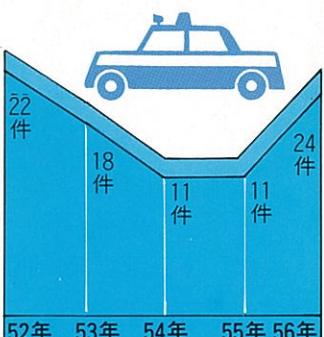
地震対策については、予想される東海地震から住民の生命財産を守るために、年1回以上の給合訓練を行い、村内全域に自主防災組織(9組織)をつくり、防災資機材を自主的に備え、いざという時には集落単位で避難できるような万全な体制を整えております。

交通事故対策については、年々危険か所にガードレールや防護柵、それにカーブミラーなどを設備して自動車事故防止を図り、万一の場合に備え、広域消防組合の救急体制が確立されております。

●交通事故件数



有線



(資料:長野警察本部)

公社電話、有線電話とも90%以上加入しております。日常的な通信体制はほぼ万全です。

緊急時の国や県からの情報は長野県防災無線により役場でキャッチ、いち早く有線放送で村民に知らされます。

一般家庭などからの緊急通信は公社、有線とも119番で消防本部につながり、ワンタッチ方式で有線放送にファイードバックされます。

地震の避難場所には電々公社により公衆電話の設備が進められております。

郵便施設については集配局の豊丘郵便局をはじめ、河野、伴野の簡易郵便局が設備され、郵便施設も年々整備されております。

13

対話から生まれる村政。



助役
菅沼一寿

村長
唐沢卓雄

収入役
松村利治

行政

当村は「豊かな緑と清流の村」をテーマに生活環境の改善、社会組織の強化を図り、やさらぎのある自然環境の中に若者の定着する近代的農村と村民福祉の実現をめざし、取り組んでいる。

そして、村民の皆様とともに、語り合い相談しながら、住民サイドの対話行政を推進しております。

役場窓口では親切な応対、正確、迅速をモットーに住民サービスの向上に努め、多用化する住民要求にこたえるべく職員は一丸となって働いております。

行政組織は6課14係と教育委員会をおいてあり、出先機関として公民館1、保育所3、診療所1、老人憩の家1、給食センター1か所があります。

職員数は87名で職員1人当たりの住民数は85人となっている。



議会

村民の皆さんからの意見を反映させ、村の意思を決定する最高の議決機関が議会です。

議会は20名の議員で構成され、年4回の定期例会のほか、必要により臨時会を開いて村民の福祉を守るために予算や条例などを議決しております。

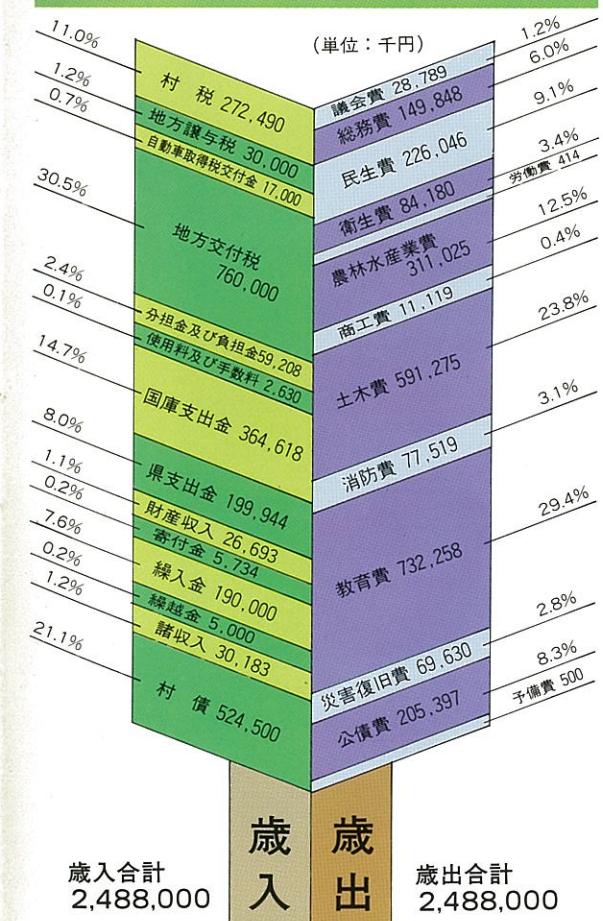
常任委員会は総務、社会、土木、経済の4分野となっており、各議員はいずれかに属し専門分野での各種案件の審議や調査活動をしています。

財政

豊丘村の財政は、他の伊那谷の各町村と同じように自主財源である村税、財産収入などが少ないため地方交付税、国県支出金、地方債等に依存する非常にきびしい中味です。国県の動向に左右されがちな財政であるため補助金制度、起債等を有効に活用し、計画行政により重点事業を中心に財源の配分をしています。

毎年、一般の経常経費の節減合理化を図り住民の生活福祉の向上を目指した建設事業を積極的に推進し、厳しい財政運営の中で活力ある村づくりを進めています。

歳入歳出予算事項別明細



議長 壱生清美



副議長 森田恒雄

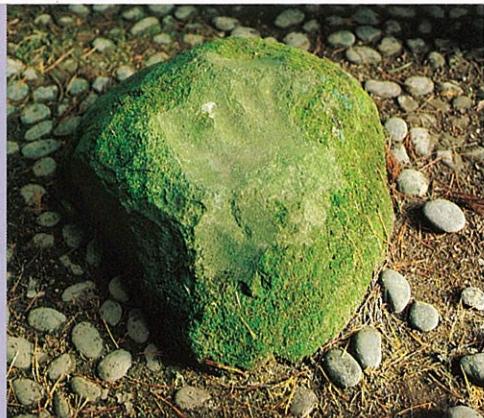
文化財

ひょうたん作り

瓢箪の栽培から加工まで自らの手で行い、作る喜びを味わう。



御手形石
佐原の御手形神社に祀られている
御手形石は建御名方命が信濃入国の
伝説地として知られている。



泉龍院十六羅漢
十六羅漢とは「永くこの世に在住して正法を護持する」という
十六の羅漢阿弥陀経が説かれた時集つた仏の弟子十六人をさす」と云われている。



荷車づくり



資料館は祖先が残してくれた文化遺産を後世に遺して伝へていくためにあり、民具・古文書・出土品等を展示してあり、生きた教材としての学習の場を果している。





歴史民俗資料館